

受理日	血対番号	感染症(PT)	出典	概要	
2005/9/22	50104	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Genetal Virology 2005;86:1571-9	TSEの感染因子を運ぶ血液成分を特定することを目的にヒツジの血液細胞成分におけるPrPcの分布を検討した英国の報告。末梢血単核細胞の表面にPrPcが認められ、また、血小板にも有意な量の細胞内PrPcが認められた。	24
2005/10/26	50137	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	The Veterinary Record 2005 8月13日	実験群におけるヒツジ間でBSEの自然感染が起こったという予備的な証拠の英国での報告。BSEが子宮内あるいは周産期にヒツジに感染しうることを示す。	25
2005/9/22	50104	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Neurology 2005 ;64(5):905-7	R208H変異がPrPscの特性や疾患の表現型には大きな変化を与えずに疾患感受性に影響を及ぼす。	
2005/9/22	50106	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Cell 2005;121(2):195-206	異常プリオン蛋白質をIn vitroで生成することができ、プリオン伝播が蛋白質のみにより起こる仮説を支持する強力な証拠と考えられる研究。	
2005/11/25	50172	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature 2005;437(8) 257-61	PrPnoサイズと感染性及び変換活性を調べたところ、14-28PrP分子に相当する凝固物を持つ非線維性粒子が最も有効なイニシエーターであることが示唆された報告。	
2005/9/22	50104	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Clinical Microbiol 2005;43(3):1118-1126	レクチン(RCA)結合性を比較することでsCJDとvCJDのプリオンタンパク質が識別できる可能性がある。	
2005/9/22	50104	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Proceedings of National academy Science 2005;102(9):3501-6	クロイツフェルト・ヤコブ病の診断には構造依存性免疫試験(CDI)を行うより正確に行える。CDI法はプロテアーゼ処理の必要が無い測定法であるために、プロテアーゼ抵抗性プリオン蛋白質(rPrPsc)もプロテアーゼ感受性プリオン蛋白質(sPrPsc)も両方の異常プリオン蛋白質(PrPsc)を測定できる唯一のイムノアッセイ法である。大多数のイムノアッセイ法では、孤発性CJD(sCJD)患者の脳の灰白質及び白質の両方で全PrPscの90%あまりを占めるsPrPscが正常プリオン蛋白質(PrPc)を除去するためのプロテアーゼ処理中に消化されてしまうことにより、PrPsc量を過小評価することになることが明らかとなった。CDIはより高感度であるため、IHCが免疫診断技法の中でスタンダードとして使用されるべきでない。扁桃や虫垂がIHCによってのみ評価されているため、検出しそこなっている可能性がある。多数のプリオンサンプルをCDIで検査することによって、プリオン病の疫学が変わるかもしれない。	
2005/10/27	50143	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2005;89:63-70	発症前段階でのvCJDの新規診断方法について。(CDI法/SIFT法/イムノPCR法)	
2005/9/22	50104	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2005;45(4):504-13	非常に高感度なDELFLIA及びフローサイトメトリーを用いてvCJD患者の血液中のPrP発現について。	
2005/10/27	50143	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Viological Methods 2005;127:154-64	病原性プリオンの検出方法について、現行のウェスタンブロット法やELISAの100万倍以上の感度を示す可能性のあるイムノPCR法の紹介。今後ヒト及び動物の血液中のPrPscを検出できる手法を開発する予定。	26